



2016-17年度
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

Weekly Report Niigata



2016-17 年度
国際ロータリーのテーマ



2016～17 年度
新潟ロータリークラブ会長
宇尾野 隆

新潟 RC2 月第 4 例会 (2017.2.28) No.3172

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 宇尾野 隆会長挨拶

国際ロータリーと国際連合

先週は、市内 7RC の合同例会に多くの皆様に、ご参加いただきましてありがとうございました。当日は 253 名のご参加をいただきました。

おかげ様で無事ホスト役を務めることができ、ホットしているところであります。

長い間、準備をしていただき当日設営をしていただきました岡村委員長はじめ、親睦委員会の皆さん、大変お疲れ様でした。心より御礼を申し上げます。

さて、2 月も今日で最後の例会となりますので、本日は、「ロータリーと国際連合」についてお話させていただきたいと思います。

1942 年に、RI 第 13 地区の年次大会がロンドンで開催されました。

このとき第 2 次世界大戦中にロンドンに亡命(避難)していたヨーロッパ 21 カ国政府の文部大臣及びオブザーバーが招かれ、戦後の教育、科学、文化交流のため世界組織づくりが話し合われました。この会議が継続されたのち、1946 年の国連教育科学文化機関(ユネスコ)に発展したということでもあります。

また RI はこの年、「永続的世界秩序の条件」と題する冊子を作成し、世界の全クラブへ送付しています。それはこの時期に、新たに提案された国際組織(後の国際連合)について、世界中の RC でその内容を討議することを促すことが目的でありました。このようにロータリーは「ユネスコ」の生みの親となり、戦時中の「国際連合」創立の準備にも関わっていたのであります。

1945 年 10 月にサンフランシスコで開催された国際連合の結成準備に、米国国務省が RI に対してオブザーバーを要請し、11 名のオブザーバー(顧問団)が国連憲章の原案作成に携わり

ました。そして当時、準備総会に正式な代表団を送った 50 カ国のうち 32 カ国でロータリーが運営されており、各国代表団のうち 20 名の代表と 7 名の委員長がロータリアンで、代議員を含めて総数 40 名のロータリアンがこれに参画しました。このとき国際連合という組織はまだ存在せず、従って事務局も職員も存在しませんでしたので、米国の 23 名のロータリアンがオブザーバーとして議事の進行、通訳・文章作成の助言、各国間の調整を行なったほか、資料作成などの事務支援を行なったことが記録に残されています。

「RI が国連準備会のコンサルタントとして招聘されたのは、ロータリー会員が各国間の理解を深める上で、これまで演じ、これからも演じていく実践的な役割を認識したからである」と当時、ステディニウス Jr. 米 국무長官が述べています。

準備会の議長を務めたのはブリュッセル RC の B.H. スパークであり、ダマスカス RC の創立会員でシリア代表の F. エルコリ首相が国連憲章に署名しています。

米国代表団の V.R. オースチン団長はヴァーモント州ヴァーリントン RC の創立会長でありました。国連創立から 12 年のうちに 5 名のロータリアンが総会議長を務めています。これらの経緯から、RI 本部には国連や関係機関への RI 代表団という委員会が設置され、ニューヨーク国連本部に 5 名、ジュネーブ・ウィーンの国連事務所に各 2 名、開発途上国経済支援、環境、食糧、世界銀行、ユネスコなどの関係機関へ計 20 名のロータリアンが代表とされていました。

現在、RI は国際連合経済社会理事会に最高位の協議資格を有する諮問団体として活動中であります。

しかし、ロータリーの意見に基づいて国連が創設されたわけではありません。

従って、国連に対しては冷静な見方を失うことなく、批判的な視点を持ち見守るという立場をとっているようであります。

現在、国連と最も深い関係があるクラブは、ニューヨーク RC であります。国連本部のニューヨーク設置に重要な役割を果たしました。これまで、多くの国連大使を輩出しています。また月に 1 回、平和のためのロータリアン行動グループやニューヨーク

RACと一緒に、国連でインターナショナル朝食例会を開いているようで、ロータリアンならだれでも参加できるそうです。また、この例会は世界中のロータリーファミリーとの絆を強めることが目的であり、この例会に出席すれば、国連に関する情報を学び、国連の高官や加盟国の代表と話ができるそうです。ですので、機会があれば一度参加したいものです。

本日は、「国際ロータリーと国連」についてお話をさせていただきました。

(3) 米山奨学生

ファム・ホアン・アインさんへ奨学金贈呈・挨拶

(4) 委員会報告

・高橋清文青少年奉仕委員長より青少年育成基金事業贈呈者募集について

新潟ロータリークラブ青少年育成基金は1989年度に創立50周年を記念して青少年育成を目的として設立されました。今回で第28回となります。この基金は新潟クラブ独自の基金として青少年育成基金設置規則第5条により募集致します。学術・文化・スポーツの面で顕著な働きのある団体・個人に問わず推薦をお願いする次第です。締切は5月末日とさせていただきますのでロータリー事務局まで奮ってご応募ください。

(5) 料理研究会ご案内

第20回 料理研究会、「魚を使った春らしい料理」

日時:3月15日(水) 18時より

会場:新潟調理師専門学校

会費:3,000円

持ち物:エプロン、バンダナ、筆記用具、2017年最初の研究会。初めての方も大歓迎です。

ご希望の方は幹事・吉田までご連絡ください。

kazu-y_ncts88@pro.odn.ne.jp

(6) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(竹田 正弘委員)

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(白勢 仁士委員長)

宇尾野 隆君 高橋 清文君

(7) ニコニコボックス紹介

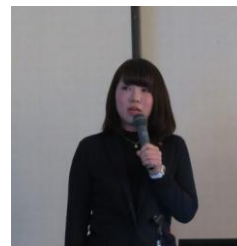
・高橋 清文青少年奉仕委員長、大澤強 RA 委員長 卓話において頂いた新潟ローターアクト大倉会長を歓迎して大いにニコニコします。

・塚田 正幸君 新潟ローターアクトクラブ 大倉瑞希会長の卓話を楽しみにしています。

・山田 浩之君 2/20の結婚記念日に素敵なお花を頂きありがとうございました。単身赴任の身で家内孝行ができました。同日に内示があり4月以降も新潟で働けることになりました。ニコニコします。

(8) 卓話「ローターアクトの活動を通して学んだ事」

新潟ローターアクトクラブ 大倉 瑞稀会長



(9) 2月28日例会の出席率 75.27 %

会員数99名(出席免除会員 8名)

出席者70名(出席免除会員 2名を含む)

(2週間前メーク後 88.30 %)

3月14日の例会予定

卓話「世界のロータリークラブの巡礼」

ORGAN OIL Co.Ltd 代表取締役 立川 龍雄氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>